

国際基準の見直しを踏まえた今後の オーバーサイトの取組み



日本銀行 決済機構局

2011年12月15日

オーバーサイトの基本方針の骨子(2010年5月)

目的	中央銀行が決済システムの関係者との間で共通の理解を形成し、改善に向けた取組みを協力して行うことで、個々の決済システムひいてはわが国決済システム全体の安全性と効率性を確保。
内容	①決済システムの制度設計やリスク管理体制、運営状況等の把握 ②安全性と効率性の評価 ③改善に向けた働きかけ
対象システム	資金決済システム、証券決済システム、清算機関
安全性・効率性の評価方法	システム的な影響の大きいシステムについては <u>国際基準の適合状況</u> を確認(システム的な影響が極めて大きい場合等には、国際基準より高度なリスク管理を求めることがあり得る)。
オフショア円決済システム	国際協調オーバーサイト原則の尊重。 国内円決済への影響の大きさに応じたオーバーサイトを行う。

これまでのオーバーサイトの取組み

1. 各決済システムが抱える課題に関する認識の共有

- 各決済システム的首脳との面談(年に2回)、決算の状況に関するヒアリング。随時の意見交換。
- 決済制度の新設、変更に関する検討への参画。
- 決済システムフォーラムの開催やレポートの公表。

2. 国際基準の見直しに関する取組み

- 基準案について決済システム運営主体やその主要参加者と意見交換。
- 意見交換を踏まえ、基準設定会合において、金融庁とも連携しつつ適切な基準策定に向けて議論。

今後の取組み

- ・ 国際基準見直しに関する意見交換の継続。
 - 評価手法(アセスメント・メソドロジー)に関する市中協議への対応
- ・ 新国際基準に照らし、各決済システムのリスク管理体制等をあらためて検証、体制強化に向けた取組みを支援。